

平成28年度 市民大学リレー講座

# コミュニケーションの 多面性を探る

～現代社会をより良く生きるために～

第1回

9/3 (土)



## 津波防災対策と リスク・コミュニケーション 静岡大学

静岡大学 防災総合センター  
原田 賢治 准教授

東日本大震災から5年が経過しました。この間、東北地方の復興に向けての取組みと共に、次の災害に向けた津波防災対策の検討も各地で進められています。避難計画や防潮堤整備などの津波防災対策の策定には、リスク・コミュニケーションを踏まえた地域住民の合意形成が欠かせませんが、難航している状況にあります。本講義では、現在進められている津波防災対策とリスク・コミュニケーションの関係について考えてみたいと思います。

第2回

9/10 (土)



## よみがえるつくり手との対話 ～文化財建造物を中心に～

常葉大学  
造形学部 造形学科  
土屋 和男 准教授

文化財とコミュニケーション、一見縁遠いようにも思えます。しかし文化財を見たり知ったりすることは、それをつくった過去の人々との対話です。また、異文化の人でも優れた文化財を見ることで、共感や尊敬が生まれます。今回は特に、誰でもそこに行けば見られる建造物を中心に、街角の建築から世界遺産まで、文化財を通したコミュニケーションを考えます。

第3回

9/17 (土)



## コミュニケーションエラーを 科学する

静岡英和学院大学  
短期大学部 現代コミュニケーション学科  
重森 雅嘉 准教授

「言ったはずが伝わっていなかった」や「思ったこととは違う意味で受け取られた」などコミュニケーションの失敗を経験することは日々たくさんあるのではないのでしょうか。これらは重大な事故に繋がることもあります。今回は、コミュニケーションエラーの仕組みを科学的に考えます。有効な対策は難しいのですが、仕組みを知ることにより、コミュニケーションエラーの考えが変わったり、防止のヒントがつかめたりするかもしれません。

第4回

9/24 (土)



## イルカから見た コミュニケーション 東海大学

海洋学部 環境社会学科  
森阪 匡通 准教授

イルカは私たちとは約1億年もの昔、進化の道を違えた種であり、全く異なる系統で、全く異なる体つきをしており、異なる環境に棲む哺乳類です。そんな彼らのコミュニケーションは、私たち人間を含む哺乳類に共通したところがたくさんあります。イルカのコミュニケーションを深く知ることは、私たち人間のコミュニケーションの深い理解につながります。

第5回

10/1 (土)



## 本当は怖い？ コミュニケーション ～「言葉の力と暴力」を哲学する～ 静岡県立大学

国際関係学部 国際関係学科  
飯野 勝己 准教授

「コミュニケーション」にはポジティブなイメージがありますが、一方でいじめやハラスメント、ヘイトスピーチといった暴力も、コミュニケーションがあるからこそ生じる現象。一見ポジティブに見えるコミュニケーションは、実はこうした「ダークサイド」をはらんでいるのではないかと、というのが私の考えです。この講義では、「どうして言葉は強い力を持つのか？」という根本的な問いを念頭に置きつつ、コミュニケーションの「怖さ」の正体に迫ってみたいと思います。